

小林副村長が退任

8月31日、小林勝典副村長が任期満了により退任しました。平成28年9月から4年間に、村政の円滑な運営に尽力され、道の駅「あぐりーむ昭和」の発展にも貢献されています。

小林勝典副村長退任あいさつ

秋冷の候、村民の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

このたび、8月31日をおもちまして副村長の任期を満了し、退任いたしました。村民の皆さまをはじめ、多くの皆さまからの温かいご指導、ご支援、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、日本でも全国に感染が拡大しており、このような状況を非常に憂慮しています。



堤村長と職員に見送られ役場を後にする小林副村長

村民の皆さまにも、感染防止のため、国で示す新しい生活様式を実践するなど、引き続き感染予防に努めていただきますようお願いいたします。

在職中は、堤村長の補佐役として、株式会社あぐりーむ昭和や、村の核となる役場新庁舎建設などに向けて、各種事業に携われたことは、私にとって身に余る光栄であり大変貴重な経験でありました。

今後は、一村民として、村政進展に微力ながら、寄与できればと思います。

結びに、昭和村の更なる発展と村民皆様のご健勝、ご多幸、ご活躍を祈念申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。

危険外来植物にご注意

もともと日本になく、種子などが輸入物などとともに入り繁殖した「外来植物」。村内でも大きく広がっており、秋に注意したい外来植物を紹介します。

アレチウリ

7月頃から急激に成長し、周辺を覆いつくす一年草です。アレチウリが畑に広がると、1平米の中に2千粒の種が落ちていくといわれ、条件がそろえば次々に発芽します。

【駆除のポイント】 大きく成長した現在では抜き取りが効果的。種子を作らせないようにしましょう。駆除したら、その場に放置するか、処分する場合は枯らして乾燥させ、燃えるゴミ袋へ。

オオブタクサ

秋の花粉症の原因植物として知られる一年草で、風に乗って大量の花粉を発生させます。休眠性が高く、地中深く埋まっても発芽能力を失いません。【駆除のポイント】 種から繁殖するため、種がつく前に除草するか、種がこぼれないようにゴミ袋へ入れてください。

▼繁殖した場所を覚えておき、春先の発芽期に除草するのが効果的です。



繁殖力の強いオオブタクサ(大規模農道沿い)



特定外来生物のアレチウリ(望郷ライン沿い)